

# 理科の家庭学習の方法

## 1 「予習」よりも「復習」に力を入れよう

- ① 理科は、実験や観察を通して日常の知らなかった（不思議に思っていた）自然現象を「なるほど!」「そうだったのか!」と感じられるようになる教科です。そういった感動を味わえるようになるには、「予習」はあまり必要ではありません。むしろ、家庭学習では「復習」が大切となります。学習したことは、その日のうちに復習しておくことが大切です。習った重要語句などは繰り返し書いて覚えるようにしよう。
- ② 学習内容を定着させるため、理科ノートを活用しよう。習ったその日に左側の問題を解いて、理解できているところできていないところを確認し、学習の仕方を工夫することが大切です。
- ③ 学習内容を定着させるため、習った範囲のワークに取り組もう。最初は自分の力でしっかりとやり、その後、分からないところは、授業プリントやレポート、教科書等を参考にしながらもう一度解いてみよう。  
解いた問題は、1ページごとに答え合わせをして確認しよう。決してまとめて答え合わせをせず、間違った問題については赤で訂正し、もう一度解いてみて、間違えた原因をはっきりさせ次に生かそう。

## 2 テスト直しは確実にしよう

- ① テストでできなかった問題をそのままにしておくと、次にまた同じ間違いを繰り返してしまうものです。「テストやり直しノート」を作成し、間違った問題をまとめていくのもよいでしょう。そして繰り返し、ノートを確認する習慣を付けていきましょう。

## 3 「なぜ?」「どうして?」といった疑問をもつ習慣をつけよう

- ① 理科では、身の回りの事象を科学的に理解することが大切となります。そのためには、常に「なぜ?」「どうして?」といった疑問をもち、そうなる理由を考えるようにしよう。理由がわかれば、納得でき、興味がわいてくるものです。このように理解し納得して身に付いたものは、単純な暗記と違って忘れにくくなります。そうやって学習していくと達成感が生まれ、理科だけでなく勉強のおもしろさや楽しさがわかってくるはずですよ。